

# 特集ワイド

「特集ワイド」へご意見、ご感想を tyukan@mainichi.co.jp ファクス 03-3212-0279

今、この国は曲がり角にある。安倍晋三政権は、反対意見を押し切るように安全保障関連法案の成立を目指す。東京電力福島第一原発事故が収束していないのに、川内原発(九州電力)再稼働。何かが、おかしい。昨年11月に亡くなった菅原文太さんの遺志を継ぎ、反戦・反原発を訴えている妻文子さんはどんな思いで過ごしているのだろうか。

【小林祥晃、写真も】

南アルプスや八ヶ岳を望む山梨県北杜市に、文太さんが2009年に開設した「おひさまファーム富士自然農園」はある。

訪れた日は、強い日差しが容赦なく照りつけていた。「暑かったでしょう?」ここは太陽を遮るものがなくて、日照時間が日本一長いと言われている。「。ログハウス風の事務所を迎えてくれた文子さんが笑みを浮かべて話してくれた。この地で有機農業を志す若者とそばやエゴマなどを生産している。

下積み時代の文太さんと結婚し、トップスターへの道を二人三脚で歩んできた。俳優を「引退」し、農業に携わることになったのはなかったのか。「夫も私も戦中戦後の食べ物がない時代が原点でした。だからお金を持っているより、畑のある生活の方が安心なので農業には賛成しました」

文子さんは真珠湾攻撃(1941年)の翌年に東京で生まれ、すぐ両親や姉と共に静岡県に疎開した。終戦時は3歳。戦争の記憶は、防空壕の暗さと食べ物がない暮らし。「疎開先で食べたのはシイタケばかり。砂糖なんてなかなか口にできなくて…。だから今も食べ物に備蓄しておかないと安心できないの

戦後70年たった今も「再びあの生活に戻ってしまうのでは」という懸念が拭えない。それは幼少時のひもじさのせいだけではない。「国の歴史は上って40年、下って40年と言っています。歴史は繰り返す、という気がしてならないのです」

「上って40年…」とは、作家の半藤一利さんら多くの識者が指摘する「日本は80年周期で上昇と下降を繰り返す」という仮説。明治政府成立(1868年)後の日本は急速に近代化し、37年後の日露戦争の勝利(1905年)で頂点に立つ。その後、関東大震災を経て第二次世界大戦へと突き進み、40年後(45年)の敗戦でどん底に落ちた。戦後日本も40年が節目。高度成長期を経て80年代後半に景気は過熱。しかし、バブル経済の崩壊後は、長い下り坂から抜け出せない。次の40年の節目となる10年後には、再びどん底に落ちるのでは、との心配が募る。

「集団的自衛権を巡る議論を見ていると、戦前と同じ道を歩んでいるようです。それに国の借金1000兆円を超え、ギリシャのような財政破綻が起るかもしれない」

## 反戦・反原発訴える 菅原文子さん



すがわら・ふみこ 1942年東京都生まれ。立教大学文学部卒。現在は文太さんが設立した農業生産法人を運営しながら、小学館の月刊誌「本の窓」でエッセー「朝の紅顔 夕の白骨」を執筆している。

## 亡夫・文太さんの遺志継ぎ有機農園 「辺野古基金」共同代表

### 「辺野古基金」共同代表

「民主主義は誰かが守ってくれるものではありません。憲法に書かれている通り、国民が不断の努力で守ってゆくもの。夫はその務めを果たした。私も自らの務めを果たしたいのです」

「民主主義は誰かが守ってくれるものではありません。憲法に書かれている通り、国民が不断の努力で守ってゆくもの。夫はその務めを果たした。私も自らの務めを果たしたいのです」

# 自分の頭で考え発言を

さらに倫理観の低下が不安に輪をかけて。「磯崎陽輔首相補佐官が安保法案を巡って「法的安定性は関係ない」と言い放つなど、自民党議員の問題発言が続いています。他にも、新国立競技場の問題で露呈した無責任体質、民意を無視する原発再稼働への動き。倫理観が地に落ちたといえる。日本は経済格差だけでなく、倫理観格差も拡大しています」



沖縄県知事選で翁長雄志氏の総決起大会に応援に駆けつけた菅原文太さん(那覇市で2014年11月1日、佐藤敏一撮影)

対運動も始まった。多くの人が今までの、お任せ民主主義ではだめだと思いはじめた。新しい社会を築くチャンスなのです」

「日が傾き始めた頃、文子さんの話は文太さんのことに移っていった。昨年の沖縄知事選で、文太さんが翁長雄志氏(現知事)の応援演説に立ったのは11月1日。亡くなる27日前のことだ。体調は既に悪かったが、一言一言のつらさと、しかし力強くこう呼び掛けた。

△政治の役割は二つあります。一つは国民を飢えさせないこと。安全な食べ物を食べさせること。もう一つは、これが一番大事です。絶対に戦争をしないこと」

聴衆を沸かせたこの言葉に、文子さんはもう一つ付け足したいと話した。それは、良い社会をつくることです。若者の死因のトップが自殺という国は、先進7カ国で日本だけ。政府は「少子化が深刻だ」と、若者に結婚や出産を奨励しますが、自殺を減らすことを考えるべきです」

良い社会をつくる責任は私たちにもある。「上り調子の40年はお任せ民主主義でやってこ

だからこそ、日本人の気質が気に掛かる。国民一人一人の意識は決して低くはないと思えるのに意見を言わず、「空気」を読んで波風立てないことを優先するところだ。「必要なのは、周りに流されず、自分の頭で考えて声を上げること。菅原も勇気を持って反原発や平和を語りましたが、それは誰もがやらなければならぬことなのです」

文太さんの死後、「文太さんにはもっと生きて、発言してほしい」と声を掛けられる。でも、それは違うと、文子さんは毅然と言葉を継ぐ。「あなたが発言する番でしょう、と聞いた。一人一人が違場所違言葉で発言することが大切なのです」

変化の兆しも感じている。政治に危機感を持ち、真剣に憲法を学ぶ人が増えています。また、安保法制や原発再稼働に対して、若者を中心に新しい形の反

れたかもしれない。でも下り坂の40年は、みんな一緒が安心」という考えでは国は持たない。強引な政治家によって、これまで築いてきた社会が破壊されてしまっています」

そうならないための鍵は、個人が自立して生きることだと信じている。文太さんも同じ思いだった。亡くなる直前、声を出す力がなかったのか、医師に何か伝えようとしても言葉が出なかった。そうしたら私に向けて腕を交差させてバツ印を作りました。何を言いたいのかわかりませんでした。自分はもう死ぬ。何もなくなっていい。それから間もなく意識が遠のき、文太さんは静かに逝った。

誰かに頼るのではない。人生を決めるのは自分だ。文子さんに伝えた、文太さんの最後のメッセージ。これは、今を生きている私たちにも向けられているのではないだろうか。

## 星の占い 2日

★牡羊座(3・21~4・19) 強気が運を開くとき。交渉ごとには押一手で。  
★牡牛座(4・20~5・20) 私生活で雑用多し。静かな時間がストレス解消に。

★双子座(5・21~6・21) うわさ話に重要事項あり。人事や人間関係の情報に注意。  
★蟹座(6・22~7・22) 神経質になりやすいとき。大げさに騒ぎ過ぎないこと。

★獅子座(7・23~8・22) 革新的な行動が運を開く。新しいことに挑戦して吉。  
★乙女座(8・23~9・22) 足元のトラブル多し。段差や階段の事故やケガに注意。

★天秤座(9・23~10・23) 後輩の面倒を見て幸運。職場の信頼が上がり吉。  
★蠍座(10・24~11・22) 異性と意見の対立あり。相手が年上なら降りた方が吉。

★射手座(11・23~12・21) 考え方が変わるとき。目からウロコが落ちる出来事も。  
★山羊座(12・22~1・19) 言葉足らずで損をしそう。口が元でのトラブルに注意。

★水瓶座(1・20~2・18) 周りから期待されるとき。表現力が幸運を呼びそう。  
★魚座(2・19~3・20) 自分に敵しいとき。のびのび行動して幸運がありそう。

マーク・矢崎